

改訂のあらまし

【図書名等】 「産業用ロボットの安全管理 —理論と実際—」
 コード No. 23186 第 4 版 定価 2,640 円（本体 2,400 円+税）
 306 ページ→316 ページ。

【発行日】 令和元年 12 月 27 日

【改訂のあらまし】

改訂のあらまし	該当頁
最新の法令、JIS に対応した修正、関係指針の掲載追加、「産業用ロボットの安全必携」との整合強化等を行った。 主な改訂箇所は次のとおり。	
第 1 編 産業用ロボットに関する知識	
・表 1.1.1（産業用ロボットによる死亡災害事例）の 2 事例を新しいものに替えた。	21
・図 1.2.2（円筒座標ロボット）、図 1.2.4（多関節ボット）、図 1.2.5（スカラロボット）の平面図と側面図の中心線をそろえた。	31-32
・旧表 1.3.2（押しボタン形アクチュエータの色と意味）を JIS 改正に伴い削除した。	旧 40
・表 1.3.2（表示灯の色が意味する機械の状態）を JIS 改正に伴い変更した。	42
・1.3.3（位置決め機構）の旧(3)の「位置決め機構の機能による性能評価」を「1.3.5 精度」とした（「産業用ロボットの安全必携」との整合）。	50-52
・図 1.3.17（手の機能の分類）を加えた。	54
・表 1.3.6（ブレーキの機能）を加えた。	57
・旧写真 1.3.7（ティーチングペンダントの操作面）、旧写真 1.3.8（ティーチングペンダントのイネーブルスイッチ）を削除した（重複と掲載場所不適切のため）	旧 57
・図 1.3.23（マイクロコンピュータによる制御システム）を加えた。	59
・図 1.5.1（PTP 制御と CP 制御）を加えた。	72
・図 1.5.5（サーボ制御）を加えた	77
・図 1.5.6（インクリメンタルエンコーダ…）を加えた。	78
・旧図 1.6.1（安全防護空間の例および産業用ロボットの主要構成要素）を JIS 改正に伴い削除した。	旧 81
・旧表 1.7.1～旧表 1.7.3 の警告表示関係の図を JIS 改正に伴い、表 1.7.1（基本形状の安全色および使用例）に替えた。	89
・1.9（産業用ロボットシステムと安全化）の構成を整備した。	93-96
第 2 編 産業用ロボットの教示等に関する知識 主要な改訂なし。	
第 3 編 産業用ロボットの検査等に関する知識	
・表 3.1（危険源の例）を JIS 改正に伴い変更した。	150-152
・旧図 3.7、旧図 3.8 の警告ラベルの例の図を削除した（重複のため）。	旧 172
第 4 編 関係法令	
・「第 5 編 関係法令」を第 4 編とした。	181-271
・4.1 の「労働安全衛生法のあらまし」を「法令の基礎知識」に改めた。	183-185
・4.2 の「労働安全衛生法（抄）」を「労働安全衛生法のあらまし」とし、各章の説明を加えた。	186-196
・4.4 の「労働安全衛生規則（抄）」に解説（解釈例規）を加えた。	199-208

<p>・4.7.6として「機能安全による機械等に係る安全確保に関する技術上の指針（抄）」を掲載した。</p>	267-271
<p>第5編 産業用ロボットの安全管理の理念</p> <p>・「第4編 産業用ロボットの新しい安全管理」を「産業用ロボットの安全管理の理念」とし、第5編とした。</p>	273-296
<p>資料</p> <p>主要な改訂なし。</p>	